

（第1号様式）

様式第二号の八（第八条の四の五関係）（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
2025年6月30日	
奈良県知事 殿	
提出者	
住 所 大阪府大阪市中央区博労町二丁目2番13号	
氏 名 大豊建設株式会社 大阪支店	
常務執行役員支店長 浅田 潤一	
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 06 - 6105 - 0160	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項及び奈良県産業廃棄物処理計画作成指導要綱第5の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	大豊建設株式会社 大阪支店
事業場の所在地	大阪府大阪市中央区博労町二丁目2番13号
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	06 総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 66,599万円
③ 従業員数	281人（大阪支店管内）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙－1 処理工程図のとおり

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙ー2 管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	排出量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・廃棄物の分別収集の徹底。 ・環境に配慮した設計計画の推進。 ・型枠の合理化。（転用、鋼製型枠の使用） ・型枠の場外加工。・Co, As ガラのリサイクル率100%を目標値設定。 ・資材搬入業者と事前協議を行い、過剰包装禁止した計画を立案。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	排出量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・混合廃棄物排出量の排出率50%以下にする。 ・設備工事のユニット化。 ・配管、配線工事のユニット化。 ・簡易梱包化。 ・タイル等打込みによるPC化。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・がれき類（コンクリート塊、アスファルト塊）、木くずは分別している。 ・ダンボール、鉄くずは専ら物として処分している。 ・石綿含有廃棄物は確実に分別、保管。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・上記に加え、廃プラスチック、石膏ボード、ガラス、陶磁器くずについても分別を実施。 ・廃棄物の分別徹底を支店、作業所一体となって推進する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・型枠についてはできるだけ再利用している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・現在、予定・計画なし。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
③現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
④計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	・実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	・当面予定なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	・委託契約基準に則り、収集運搬会社、処分会社を選定し、書面により委託契約を実施している。 ・作業所にて契約書類を作成して、支店内の審査後、決裁により契約を締結する。		
	規則 ・積換、保管は原則許諾しない。 ・建設廃棄物委託契約時チェックリストに従って確認する。 ・支店長による承認。承認後契約。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・委託処理業者の定期的現地確認の実施を行う。 ・可能な限り優良処理業者を優先して、選定、委託契約する。 ・電子マニフェストの全現場導入を予定する。 ・再生利用業者、熱回収業者へ処理委託する。 		
※事務処理欄			

別紙集計表

現状:【前年度(令和6年度)実績】
計画:【今年度(令和7年度)計画(目標)】

単位:トン

産業廃棄物の種類	排出抑制に		自ら行う再生利用に		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等		処理の委託に関する事項									
	排 出 量		自ら再生利用を行った(行う)量		自ら熱回収を行った(行う)量		自ら中間処理により減量した(する)量		自ら埋立処分又は海洋投入処分を		全 処 理 委 託 量		優良認定処理業者への		再生利用業者への		認定熱回収業者への		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
廃プラスチック類	46.8	32.7	—	—	—	—	—	—	—	—	46.8	32.7	46.8	32.7	46.8	32.7	0.0	0.0	0.0	0.0
紙くず*	1.8	1.2	—	—	—	—	—	—	—	—	1.8	1.2	1.8	1.2	1.8	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0
木くず*	49.2	34.4	—	—	—	—	—	—	—	—	49.2	34.4	49.2	34.4	49.2	34.4	0.0	0.0	0.0	0.0
がれき類	7.2	5.0	—	—	—	—	—	—	—	—	7.2	5.0	0.0	0.0	7.2	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0
コンクリート破片	2,171.1	1,484.8	—	—	—	—	—	—	—	—	2,171.1	1,484.8	0.0	0.0	2,171.1	1,484.8	0.0	0.0	0.0	0.0
アスファルト・コンクリート破片	1,088.7	762.1	—	—	—	—	—	—	—	—	1,088.7	762.1	0.0	0.0	1,088.7	762.1	0.0	0.0	0.0	0.0
管理型建設混合廃棄物	24.4	17.1	—	—	—	—	—	—	—	—	24.4	17.1	24.4	17.1	24.4	17.1	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	3,389.1	2,337.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3,389.1	2,337.4	122.1	85.5	3,389.1	2,337.4	0.0	0.0	0.0	0.0

産業廃棄物の一連の処理の工程

1.建設汚泥

汚泥再生処理業者に委託契約→路盤材、埋め戻し材として再資源化

2.がれき類（コンクリート塊、アスコン塊）

がれき類再生処理業者に委託契約→再生砕石、再生砂として再資源化

3.木くず

再生処理業者に委託→破碎チップ化、堆肥化として再資源化

4.鉄くず

スクラップ業者に委託、売却等→再生鉄として再資源化

5.紙くず、段ボール

再生処理業者に委託→再生紙等として再資源化

6.廃プラスチック

破碎、選別、焼却業者に委託契約→再生原料、他埋立処分

7. 石膏ボード

破碎、選別業者に委託→減容またはセメント原料、土壌改良材として
再資源化、他埋立処分

広域認定制度利用→再製品化

8. 混合廃棄物

破碎、選別、焼却業者に委託契約→再生原料、チップ、燃料等に
再資源化し、燃えがら等は最終処分

管理体制図

廃棄物処理に関する管理体制

統括責任者	所属：大阪支店 安全環境部 部長
廃棄物担当	所属：大阪支店 安全環境部 安全環境課 課長
統括責任者	○廃棄物処理方針の策定 ○廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認
担当課長	○廃棄物処理委託契約書の審査、契約書類の保管 ○廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ○処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理 ○再資源利用、利用促進計画、実施書の作成指導 ○産業廃棄物管理票の交付・管理 ○監督官庁への各種報告 ○社員、関連会社に対する教育・啓発 ○その他関係する事項

廃棄物管理体制

